



日本共産党

北区議会議員

# のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.157 2011.3.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に 090-2156-3510

東日本  
大震災

## 救援・復興活動に全力

死者・不明あわせて2万人を超える大災害となった東日本大震災から10日、被災地では現在も必死の救援活動が続けられています。日本共産党の、のの山けん区議は、連日街頭での救援募金にとりくむとともに、行政と協力しながら震災対策と被災者救援・復興活動に全力でとりくんでいます。



後援会員とともに、街頭で被災者救援募金を訴える、のの山区議と池内さおり氏 20日、ララガーデン

20日午後、のの山区議は、日本共産党都委員会青年学生部の池内さおり氏、党の地域・青年後援会員とともにララガーデンで救援募金の訴え。「早く被災者を助けてあげて」などの激励とともに、3万2000円余の募金が寄せられ、発災後から続けられた募金は、総計30万円を超えました。

18日に開かれた北区防災対策特別委員会でのの山区議は、区内での被害状況をくまなく集約することや、住民から提供される救援物資の受け入れ窓口を北

区内に設置することなどを求めました。

19日には、午後と夕方の方の2回、のの山事務所での震災問題の懇談会を開き、のべ51名が参加。のの山区議が震災対策の現状について報告し、そねはじめ前都議、いぬいあきお北区社保協事務局長がいさつしました。参加者からは原発事故、計画停電などへの不安や要望が寄せられました。



### 志茂1丁目で防災訓練

20日、志茂町公園で志茂1丁目自治会の防災訓練がおこなわれました。私も住民のみなさんと一緒に参加し、消火器操作やバケツリレーに汗を流しました。(のの山けん)

震災問題懇談会の参加者に状況を報告する、のの山区議と、そねはじめ前都議  
20日、のの山事務所



# 北区の震災対策の現状は

革新都区政をめざす会  
3・21 討論集会で

## この山区議が緊急報告

21日に開かれた革新都区政をめざす会の討論集会で、北区の震災対策の現状について、この山げん区議が報告しました。



### 党として救援・復興活動に全力

日本共産党は、国会議員、地方議員を先頭に被災地で救援活動をすすめる一方、全国の街頭から被災者救援募金をよびかけています。北区でものべ50カ所以上で376万円（20日現在）の救援募金を集めました。党中央は、宮城に続き、福島、岩手にもそれぞれ1千万円を届けました。

### 行政と力をあわせ震災対策、被災者救援を

党北区議員団は、震災直後から被害状況や安否確認をおこない、翌12日午後には花川区長へ6項目の緊急震災対策を申し入れました。18日の防災対策特別委員会でも、重ねて全力をあげた震災対策を提起しました。6項目の要請にそって、区の震災対策の現状

と到達点を紹介します。

#### ●区内の被害状況は

第1は、区内の被害状況を正確につかみ、公表することです。区は17日現在で、けが人、エレベーターとじこめがそれぞれ1人、屋根被害51件、外壁被害46件などの被害状況をまとめましたが、まだ一部にすぎないと思われます。引き続き、被害状況をくまなくつかむ努力が必要です。なお、震災当日の夜、約2千人と発表された帰宅困難者は、午前4時にはピークの5900人となり、区は北とぴあやふれあい館などの施設、小中学校を開放し、毛布や食料などを配るなどの対応をしました。

#### ●相談窓口の開設を

第2は、震災なんでも相談窓口の開設です。震災の被害から計画停電、物不足など心配も多岐にわたっていることから、いわゆるワンストップでの相談窓口の設置を求めました。区としては、それぞれ

の相談窓口をわかりやすく案内するとしています。

#### ●住宅リフォーム助成は前倒しを

第3は、新年度から実施する住宅リフォーム助成制度を前倒しして、震災被害者にも適用できるようにすることで。区は「新制度内で柔軟に対応」としていますが、6月となっている第1次の募集を4月からすることや、応募前におこなった修繕にも遡及して助成を適用するなどの方法を提起してゆきたいと思えます。

#### ●公的住宅の復旧対策

第4は、都営、公団、公社住宅など被害をつけた公的住宅の復旧対策です。豊島五丁目団地では、約5千戸のうち、1千戸以上で入口ドアが閉まらなくなるなどの不具合ができています。

#### ●被災者への支援

第5は、北区として被災者

に対する支援を実施することです。区は、18日深夜、2台のトラックに、クラッカー9千食、アルファ米1万5千食、飲料水3千本、毛布700枚を積み込み、宮城県仙台市若林区に届けました。なお、支援物資については、都庁第2庁舎の窓口でのみ受け付け可能です。

#### ●被災者の受け入れを

第6は、公的住宅での被災者の受け入れを、国や都に求めることです。現在、東京では都営500戸、公社100戸、公団500戸を被災者のために用意しています。区では、介護が必要な被災者に区内9カ所の特養ホームで17床を提供できるよう準備しています。

いま、行政も議会も「走りながら」の対応をしています。原発、計画停電、物不足の問題など、さまざまな要望が寄せられています。住民のみならず、皆さんの協力を得ながら、全力でとりくんでゆきます。